

議会報告会報告書

開催日時	令和5年5月31日（水）午前10時5分 終了：午前11時35分	
開催場所	議会第1会議室	
対象団体	市民活動集団カムカム弾	
参加人数	9人	
班構成	B班	木谷和栄、中野 進、田代敬子、小川義昭、村本一則、 宮岸美苗、藤田政樹
役割分担	司会・挨拶：藤田政樹 報告：令和5年度当初予算／小川義昭、総務企画／田代敬子、 文教福祉／宮岸美苗、産業建設／中野 進	

第2部 意見交換会

（意見1-1）

少子化対策について、費用面での補助や支援が目立つが、子育ては楽しいとか、子供のいる生活や家庭が充実して楽しいなど、子どもを産み育てる喜びを感じられるような施策を充実させてほしい。

（意見1-2）

出産して子育てする中で、窓口相談に行っても有料のファミリーサポートを使ってほしいと言われるが、地域で子供をみてもらえる制度はできないか。また、チラシを渡されるだけでは読めないの、健診の際でもファミリーサポートの紹介などを行ってほしい。

（意見2）

行政には子育てや健診のカウンセラーがいると思ったが、答えが返ってこない。対応が形式的で冷たく感じる時が多い。

（意見3）

お母さんたちの関わり合いができる場（親子の広場）があるのはいいが、みんな精神的に元気とは限らず（子供が病気、障害、子育ての悩みで疲弊している、不登校）、そういった親子を救うことのできる場所や仕組みが充実できればよい。

（意見4）

不登校や学校に行きづらい子と親の相談窓口は寄り添った対応をしてほしい。

（意見5）

小学校の授業で、答えた児童の意見に同意するフレーズ（同じです、そう思いますなど）を、児童みんなで言ったりするが、違う意見を持った子が自分の考えに自信が持たなくなり自己否定に陥るのではないか。

（意見6）

学校給食について、能美市、加賀市は無料化となっている。他市を見習い、ぜひ食費の無償化を実現してほしい。地産地消も重要だ。

(意見 7)

学校における性教育は難しい面が多くあるが、助産師や専門の講師に授業をしてもらったりすることは大変重要だ。性教育を通じて一人一人の理解を深めることができるので、ぜひ授業をしてもらいたい。

(意見 8)

定住促進支援制度について、白山ろく地域の空き家をリフォームすることを検討したが、費用は新築と同程度かかることが多いにも関わらず、空き家改修の最大補助額は新築（白山ろく地域定住奨励金）の半額の 50 万円となっている。試算した上で現在の金額になっているのか理由を知りたい。

その他

- ・ 白山市の子育て環境（周辺の環境）はとても良い。自然があって、自由に遊べる周辺環境が自動車の危険や近隣に気を配らなくてもいいのがうれしい。
- ・ 白山市は自然の中での子育てができる
- ・ よそから見れば魅力がたくさんあるのに地元愛が少ない。
- ・ 白山市は児童館や図書館など予約をしなくても子供が遊べる施設が充実している。
- ・ 日本の教育のビジョンが見えない。
- ・ 先生も親も余裕がない。
- ・ 保護者は学校に何でも求めすぎている。学校と家庭が分離していてうまくかみ合っていない。
- ・ 授業参観日の後、懇談会の席上、校長先生から給食費の値上げを 1 食 15 円内にしてほしいと市から要請があった旨報告があった。物価の値上がりの折、その程度の費用負担で食の安全対策は守れるのか心配だ。あまり高くなると困るが、多少の値上げは致し方のないことだ。食育は大変重要だ。

備 考	
-----	--